

1年—LESSON 1~3

●音から文字へ。体験から学習へ。中学校の英語学習のスタートです。
 ・このページから、文法や単語などの学習が始まります。

小学校で慣れ親しんだリスニング活動からレッスンの導入を図ります。
 右ページの本文を含む類似のやり取りを3つ聞くことで、リスニングのインプット量を豊かにします。

リスニング・スクリプト

No.1

Ken: Hello, I am Kato Ken.
 Meiling: Excuse me?
 Ken: Ken. K-E-N.
 Meiling: Ken. I am Yang Meiling.
 Ken: Nice to meet you, Meiling.
 Meiling: Nice to meet you too, Ken.

No.2

Kumi: Hello, I am Tanaka Kumi.
 Paul: Excuse me?
 Kumi: Kumi. K-U-M-I.
 Paul: Kumi. I am Paul. Paul Green.
 Kumi: Nice to meet you, Paul.
 Paul: Nice to meet you too, Kumi.

No.3

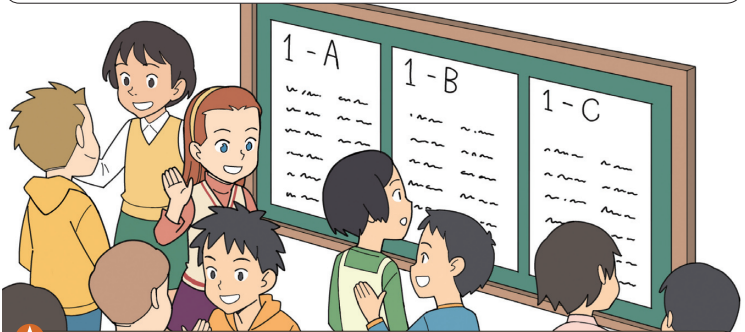
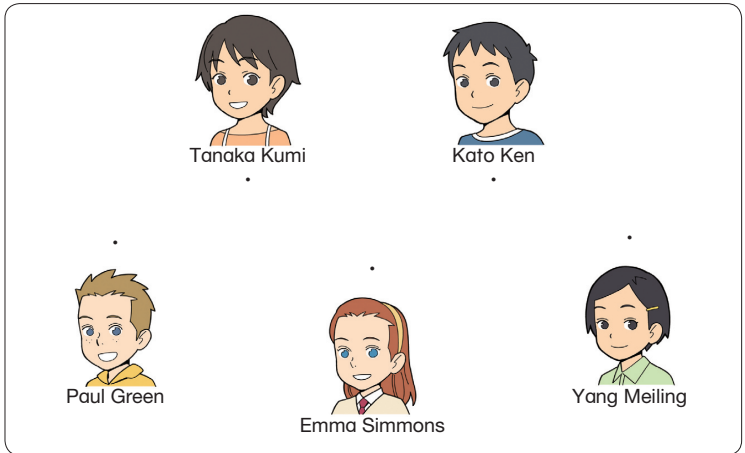
Emma: Hello, I am Emma Simmons.
 Kumi: Excuse me?
 Emma: Emma. E-M-M-A.
 Kumi: Emma. I am Tanaka Kumi.
 Emma: Nice to meet you, Kumi.
 Kumi: Nice to meet you too, Emma.

LESSON 1 I am Tanaka Kumi

GET Part 1

●中学校での生活が始まり、久美たちが他のクラスメートとあいさつをしています。

聞いてみよう👂👄 会話を聞いて、だれとだれがあいさつしているのか、線で結ぼう。



★ POINT

●「私は～です」

I am Tanaka Kumi.

文法の要点 p.42

リスニングに含まれる基本文のしくみに着目します。
 文のしくみを理解した上で、再度リスニングにチャレンジして内容理解を確かなものとします。

1年のLESSON 1~3はこのページ構成です。標準的な授業時間は、1見開きで1時間です。

● 4技能を総合的に使って、英語のしくみをしっかり身につけます。

・「聞くこと」からスムーズに導入します。

この課で学ぶこと

- あいさつの仕方を知る。
- am / areを理解し、使う。
- 自己紹介をしたり、気持ちや状態を伝えたりする。

Kumi: Hello, I am Tanaka Kumi.

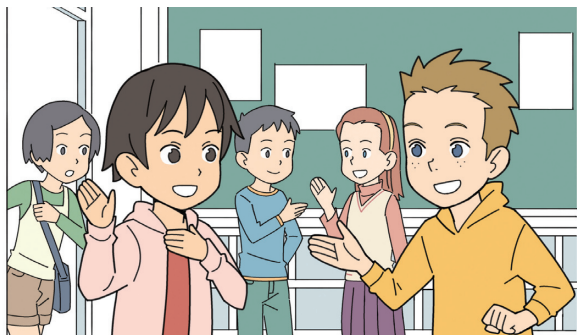
Paul: Excuse me?

Kumi: Kumi. K-U-M-I.

Paul: Kumi. I am Paul. Paul Green.

Kumi: Nice to meet you, Paul.

Paul: Nice to meet you too, Kumi.



Words

- I
- am
- hello
- excuse
- me
- nice
- to
- meet
- you
- too
- Excuse me?
- Nice to meet you.
- Paul Green
- ポール・グリーン(人の名前)
- Emma Simmons
- エマ・シモンズ(人の名前)
- Yang Meiling
- ヤン・メイリン(人の名前)

左ページのリスニング活動ですでに聞いている本文を読み、音から文字へとつなぎます。

学習した文法や語いを使って簡単な活動をし、定着を促します。

話してみよう ①ペアになり、例にならってあいさつしよう。そして相手の名前をメモしよう。

例 A: Hello. I am Ken, K-E-N.

B: Hello. I am Emma, E-M-M-A.

書いてみよう ②下の例にならって、大文字・小文字に注意し、自分の名前を紹介する文を書いてみよう。

●文の最初の文字は大文字にする(ただし、Iは文中でも大文字)。

I am Tanaka Kumi.

●文の終わりには、「。」(ピリオド)をつける。

●人名・地名の最初の文字は大文字にする。

●単語の間は小文字1つ分くらいあける。

▼日本人の名前を英語で表現するとき、①日本語と同じように「姓+名」とする言い方と、②英語圏での言い方に合わせて、「名+姓」とする言い方の2通りがあります。この教科書では①を使います。